

特集

自動販売機の輸入



令和5年11月17日
東京税関



- ★2022年の輸入数量は過去10年間で最多、前年比56%増、輸入金額は前年比80%増！
- ★東京港が輸入数量、金額ともに27年連続全国シェアトップ！
- ★フィリピン、中国からの輸入が全体の約8割を占める！

はじめに

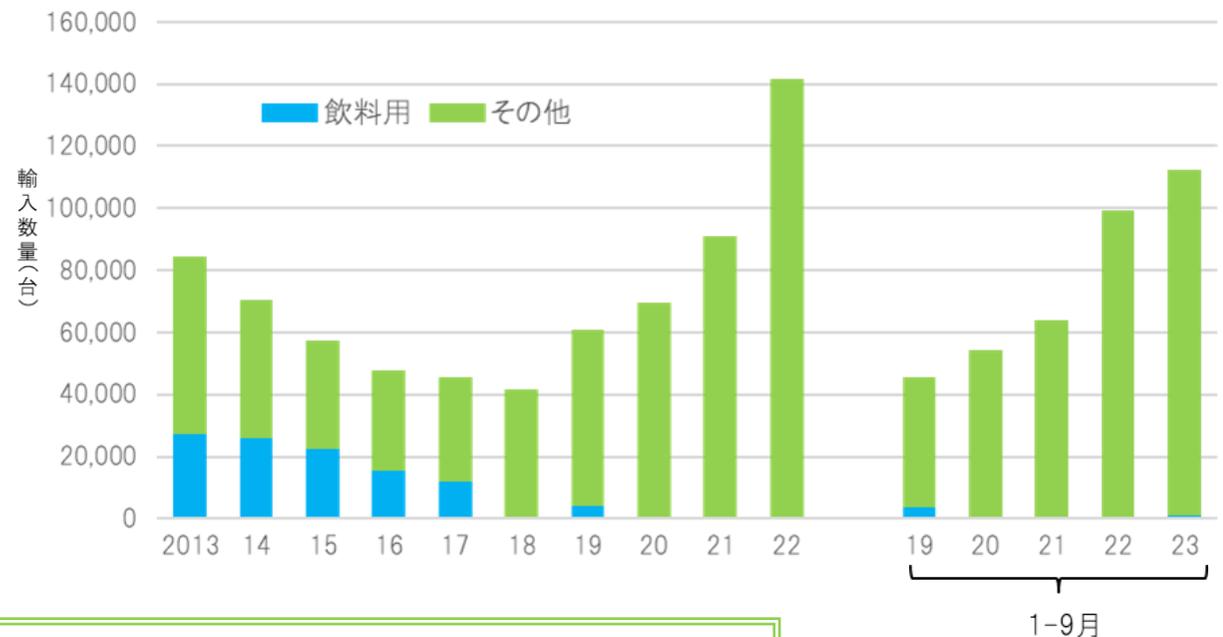
駅や会社、商業施設など日本全国で目にする自動販売機。近頃は、飲料だけでなく食品や日用品、食券など様々な商品が販売されており、私たちの生活になくてはならない存在となっています。

このように、広く普及している自動販売機ですが、海外から輸入されているものは、実はあまり多くありません。

しかしながら、近年の自動販売機の輸入数量の推移を見ると（右図1）、特に飲料用を除く自動販売機の輸入数量の増加が顕著となっています。

そこで、今回の特集では、私たちの生活の一部となっている自動販売機の輸入動向についてご紹介します。

(図1)自動販売機の輸入数量の推移



本特集の「自動販売機」は、以下の輸入統計品目番号に属する品目です。（1996年以降現在まで適用）
第84.76項 物品の自動販売機（例えば、郵便切手用、たばこ用、食料品用又は飲料用のもの。両替機を含む。）

飲料の自動販売機

8476.21-000 加熱装置又は冷却装置を自蔵するもの

8476.29-000 その他のもの

その他の自動販売機

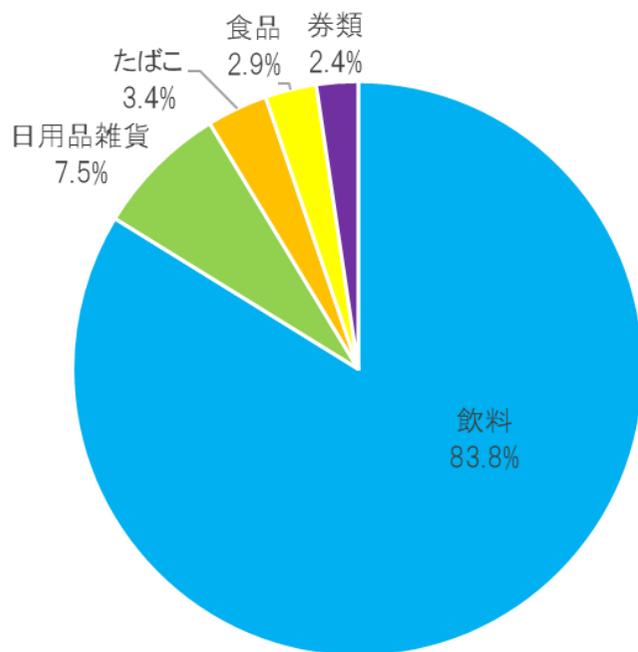
8476.81-000 加熱装置又は冷却装置を自蔵するもの

8476.89-000 その他のもの

※2022年分は確々報値、2023年9月分は9桁速報値です。

自動販売機の普及状況

(図2)自動販売機の普及台数シェア(2022年12月末現在)



一般社団法人日本自動販売システム機械工業会が公表している「自動販売機普及台数(2022年版)」によると、左図2のとおり、自動販売機の国内普及台数は約268万台で、飲料用(約224万台)のシェアが約84%となっています。続いて、日用品雑貨(約20万台)のシェアが7.5%、たばこ(約9万台)のシェアが3.4%となっています。

自動販売機(以下「自販機」という。)は屋外にも多く設置されていますが、これは欧米各国ではあまり見られない光景のようで、治安のよい日本ならではのようです。盗難の心配が少ないから、屋外も含めこれほど多く普及したのかもしれませんが。

また、前頁で、海外から輸入されている自販機はあまり多くないと記載しましたが、実際はどれくらいの差なのでしょう。以下の表1は、経済産業省機械統計年報から、2011年から2020年までの国内の自販機の生産数量及び金額を、財務省普通貿易統計から同年の輸入数量及び金額を抽出した表となります。2020年を見ると国内生産数量は約20万台、輸入数量は約7万台ですので、数量ベースでは3倍くらいの差があります。金額ベースだと更に差が開きます。

自販機の輸入が少ない現状について業界では、国内の大手自販機メーカーが国内設置分の自販機の製造を担ってきており、自販機を海外工場で製造することはあっても、あくまで現地向けであり、それを日本へ輸入することは稀であるとの認識でした。

では、このような背景にあっても近年増加している輸入自販機の動向を次頁から見ていきます。

(表1)自動販売機の生産と輸入の台数・金額の比較

| | 生産 | | 輸入 | |
|-------|---------|---------|---------|---------|
| | 数量(台) | 金額(百万円) | 数量(台) | 金額(百万円) |
| 2011年 | 298,684 | 91,914 | 118,047 | 4,597 |
| 2012年 | 330,667 | 100,089 | 127,881 | 7,725 |
| 2013年 | 314,393 | 92,118 | 84,200 | 6,948 |
| 2014年 | 326,034 | 95,025 | 70,350 | 7,953 |
| 2015年 | 291,791 | 87,800 | 57,140 | 6,133 |
| 2016年 | 250,087 | 75,301 | 47,740 | 3,986 |
| 2017年 | 261,727 | 80,385 | 45,717 | 3,493 |
| 2018年 | 255,468 | 77,065 | 41,781 | 838 |
| 2019年 | 251,620 | 79,937 | 61,005 | 2,206 |
| 2020年 | 202,448 | 64,119 | 69,544 | 2,017 |

【補足】

経済産業省機械統計年報と財務省貿易統計は、それぞれの方法で統計データを作成していますので、「自動販売機」に含まれるものの範囲が異なる可能性があります。生産数量及び金額については、機械統計年報の「19.自動販売機、自動改札機・自動入場機及び業務用洗濯機」のなかの「(1~4)自動販売機」の数を集計しています。((1)飲料用、(2)たばこ、(3)切符、(4)その他の自動販売機)

| 販売物品 | 普及台数(台) | 割合 | 前年比 |
|-------|-----------|--------|--------|
| 飲料 | 2,242,700 | 83.8% | 99.5% |
| 日用品雑貨 | 201,500 | 7.5% | 99.3% |
| たばこ | 92,300 | 3.4% | 79.6% |
| 食品 | 77,700 | 2.9% | 106.7% |
| 券類 | 63,100 | 2.4% | 101.1% |
| 合計 | 2,677,300 | 100.0% | 98.8% |

(出典)一般社団法人日本自動販売システム機械工業会
「自動販売機普及台数(2022年版)」

年別輸入動向

右図3、4は、全国及び東京税関管内の自販機の年別輸入動向です。2011年、2012年を除き、2008年から現在まで東京税関管内(ほぼ東京港)での輸入が過半数を占めています。全国の輸入数量は、2018年を境に、減少傾向から増加傾向に転じており、2022年は輸入数量が141,728台で前年比約56%増、金額が38億48百万円で同約80%増となりました。

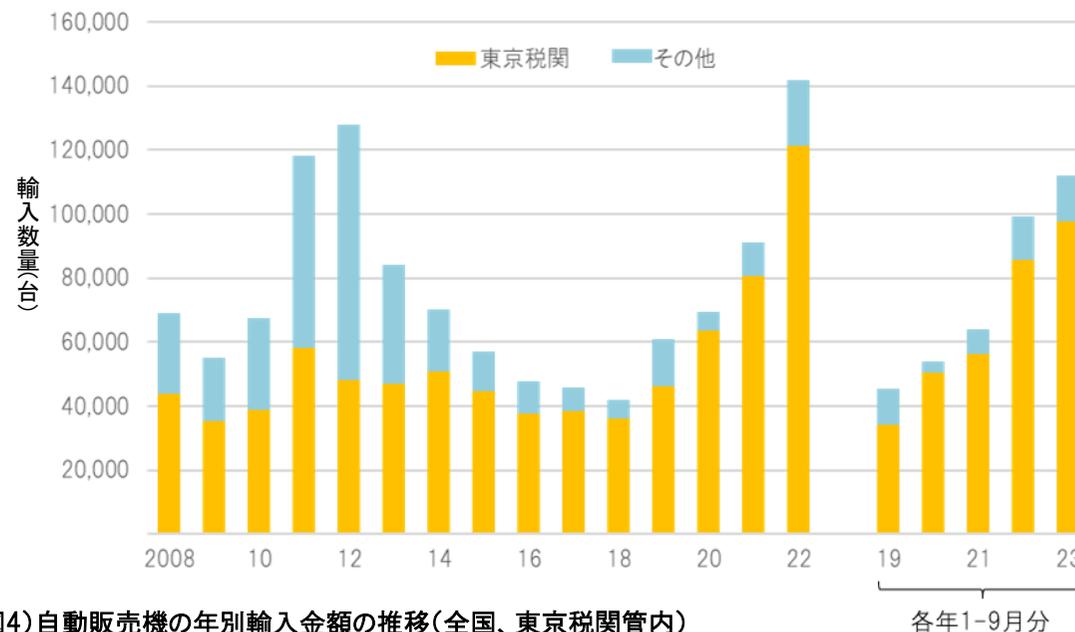
急激な伸びを示している輸入数量に対して輸入金額は緩やかな増加となっており、2014年のピーク額に達していません。これは、2017年頃までは飲料用の自販機の輸入も多く、その分金額が押し上げられていたことが理由であると考えられます。

また、ここ数年の輸入数量の増加には、2024年7月に発行が予定される新紙幣への対応の影響がないかどうかを業界に確認したところ、新紙幣対応のために古くなった自販機を丸ごと入れ替えるケースは少なからずあるが、それよりは紙幣を判別する機械又はプログラムだけを入れ替えるパターンの方が多いため、国内製造台数への影響はそれほど大きいものではなく、輸入数量への影響も同様ではないかとのことです。

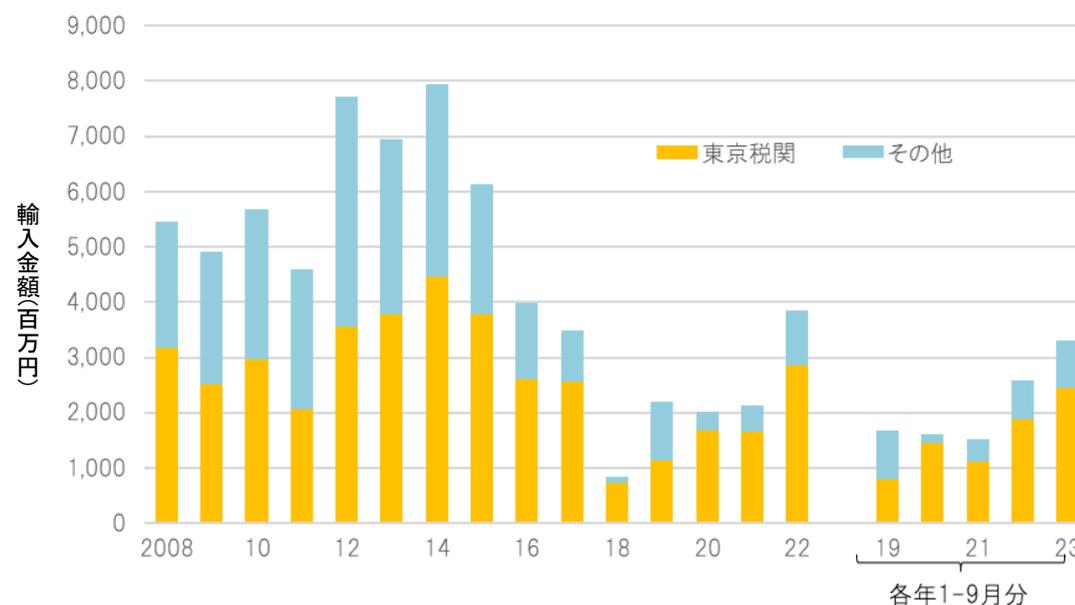
では、最近輸入されている自販機にはどのようなものがあるのでしょうか。飲料用の自販機では、豆を挽いて淹れたてのコーヒーを販売する自販機や、搾りたてのフルーツジュースを販売する自販機などがあります。また、飲料用以外の自販機では、カプセルタイプの自販機や、トレーディングカードの自販機、麺類を温めてすぐに食べられる状態で提供する自販機、レンタル機器の自販機など様々な種類の自販機が輸入されています。

中でも、駅やショッピングモールなどの一画だけでなく、最近は専門店も増えているカプセルタイプ自販機について次頁で少しご紹介します。

(図3) 自動販売機の年別輸入数量の推移(全国、東京税関管内)



(図4) 自動販売機の年別輸入金額の推移(全国、東京税関管内)



コラム1 急成長するカプセルトイ市場

カプセルトイの市場規模

海外から輸入されている自販機のなかで、最近よく見かけるようになったな、と思うものの一つにカプセルトイの自販機があるのではないのでしょうか。カプセルトイ専門店が増加していることから、人気急上昇していることが伺えます。

一般社団法人日本玩具協会が毎年発表している国内玩具市場規模によると、2022年度のカプセルトイ市場は、前年度比35.6%増の610億円となったそうです。2013年度は278億円でしたので、10年間で約2.2倍に増加しています。

全国のカプセルトイ自販機の設置台数は、推定60万台強になる^(注1) そうです。今や、カプセルトイは子どもから大人まで幅広い年代をターゲットにしています。20～60歳の大人を対象としたアンケート調査で、購入するカプセルトイ1個あたりの価格帯は700円以上と回答した人が8.2%いることがわかりました。高価格のカプセルトイは、特にクオリティの高さに魅力を感じている大人に受け入れられている^(注2) ようです。

今後どんなカプセルトイに巡り合えるのか、楽しみです。



最新のカプセルトイの事情

キャッシュレス化

駅にある飲料の自販機などでよく見かけるキャッシュレスの自販機が、カプセルトイ自販機にも登場しています。コイン式は100円単位で価格設定する必要がありますが、キャッシュレスであれば自由に価格設定ができることや、両替不要になるなどのメリットがある^(注3) そうです。

カプセルトイの海外進出

カプセルトイ自販機は元々アメリカで生まれ、アメリカでは今でも子ども向けの玩具が主流のようです。日本ではカプセルトイ自販機で100円硬貨や500円硬貨が使用できますが、アメリカでよく使われるのは25セント硬貨であるため、カプセルトイ1つあたり300円くらいが主流となっている日本と違い、アメリカでは今でも25セントか50セントが主流となっており、結果、高品質なものを作るのは難しいのだそうです。しかしながら、上記のキャッシュレス化の進展によって、コインの問題が解消されるとともに、訪日外国人旅行者によってカプセルトイ人気を広まれば、日本式カプセルトイの海外進出は世界各国で今後さらに進む^(注4) かもしれません。

(注1)小野尾勝彦(2023)『ガチャガチャの経済学』、プレジデント社、p18

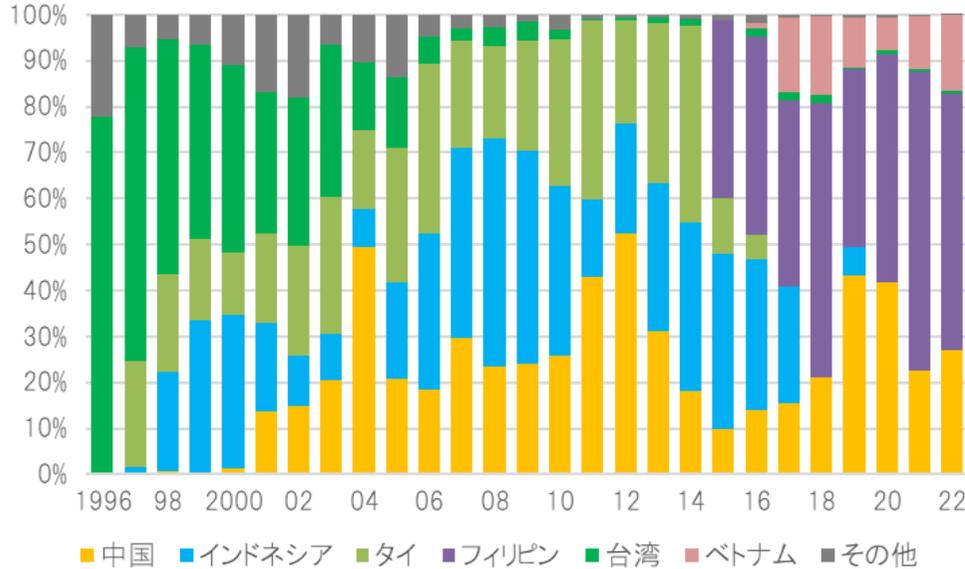
(注2)株式会社ハピネット、カプセルトイの大人需要実態調査、2023.1.25

(注3)小野尾勝彦(2023)『ガチャガチャの経済学』、プレジデント社、p142-143

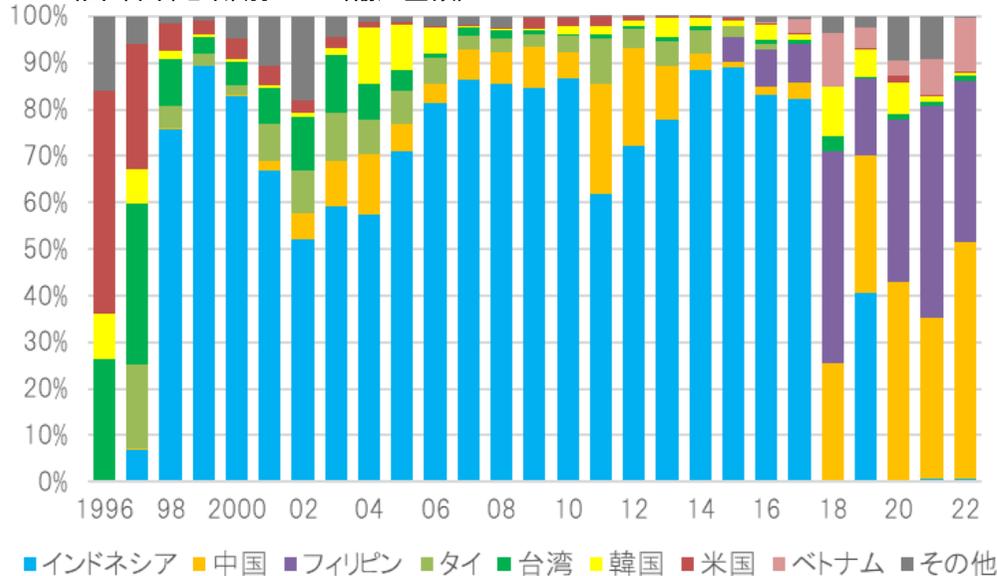
(注4)小野尾勝彦(2023)『ガチャガチャの経済学』、プレジデント社、p150-152

国(地域)別輸入動向

(図5)国(地域)別シェア(輸入数量)



(図6)国(地域)別シェア(輸入金額)



左図は、国(地域)別シェアの推移(図5:輸入数量、図6:輸入金額)です。統計が確認できる1996年は、数量ベースでは台湾、金額ベースでは米国のシェアが大きかったものの、次第に国(地域)は入れ替わり、直近の2022年は中国、フィリピン、ベトナムのシェアが大きいです。図5の輸入数量シェアと図6の輸入金額シェアを比べると、特にインドネシアの金額シェアが数量シェアに比べて大きい時期が長く続いていることがわかりますが、インドネシアからは比較的単価の高い飲料用の自販機が輸入されていたことから、金額シェアで過半数を占める年がしばらく続く結果となりました。

こんな自動販売機もあります！



生花やケーキなどを販売しているロッカー型の自販機を知っていますか？こちらのロッカー型自販機は、羽田空港第3ターミナル内で見つけた「免税販売自販機」です。

外国人旅行者が免税品を購入する際に必要なパスポートによる本人確認や免税購入手続きをこの自販機で行うことで、あらかじめネットで予約しておいた免税品をロッカーから取り出し、受け取ることができます。

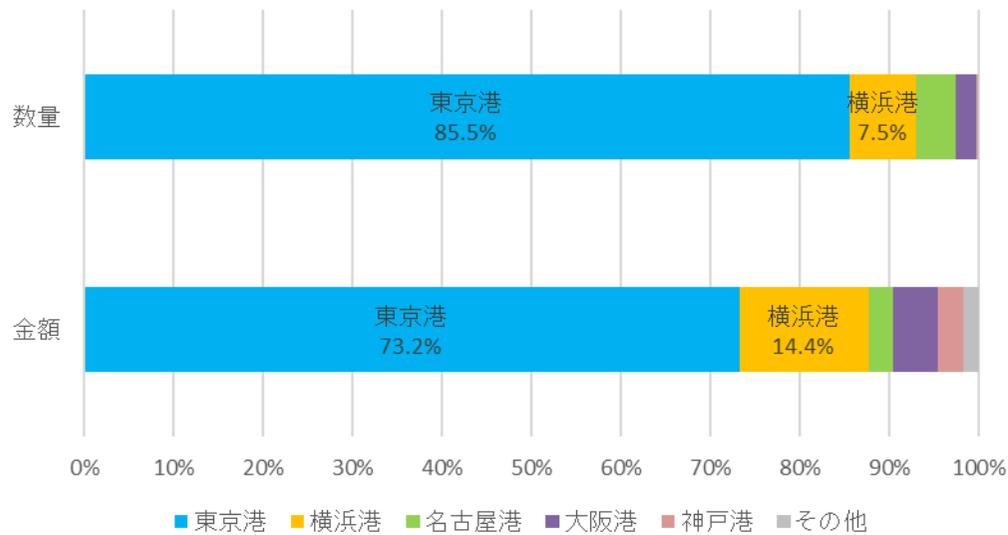
インバウンド需要の回復が見込まれる中、人手不足対策としても、旅行者の利便性向上にも一役買っています。

港別輸入動向

下図7を見ると、2022年の港別輸入実績は、輸入数量及び金額ともに1位は東京港、2位は横浜港となっており、これら首都圏の2港で全体の約9割を占めています。

首都圏に所在する企業が多いことや、一大消費地に近いことから、東京港や横浜港での輸入が大きくなっているそうです。

(図7)港別構成比(2022年)



| | 輸入数量(台) | | 輸入金額(千円) | |
|------|---------|--------|-----------|--------|
| 東京港 | 121,206 | 85.5% | 2,817,659 | 73.2% |
| 横浜港 | 10,623 | 7.5% | 555,726 | 14.4% |
| 名古屋港 | 6,116 | 4.3% | 103,405 | 2.7% |
| 大阪港 | 3,274 | 2.3% | 192,883 | 5.0% |
| 神戸港 | 181 | 0.1% | 108,800 | 2.8% |
| その他 | 328 | 0.2% | 69,556 | 1.8% |
| 合計 | 141,728 | 100.0% | 3,848,029 | 100.0% |

おわりに

自販機市場の今後の見通しについて、業界は、自販機の普及台数は、保守管理を担う人手不足やコンビニ店舗の増加により緩やかに減少していますが、今後も同様の傾向が続くものと見えています。一方で、コロナ禍において自販機の持つ非対面の特性が見直されたことで、今まで取り扱ってこなかった商品の取り扱いが増加する等、自販機の活用が多様化し、新たな可能性が広がっていくのではないかと見えています。



コラム2 知らなかった！自動販売機のこと

自動販売機の歴史

世界初の自販機は、なんと紀元前215年頃にエジプトの寺院に置かれた聖水の自販機なんだそうです。この自販機は、てこの原理を応用したもので、投入された硬貨の重みで内部の受け皿が傾き、その傾きが元に戻るまで弁が開いて聖水が出てくるという仕組みだったそうです。

想像をはるかに超えた歴史ある機械だったんですね！

対して、日本初の自販機はというと、聖水の自販機から実に2000年以上後の明治21年(1888年)に、俵谷高七(たわらやたかしち)が考案したたばこなどの箱入り商品を販売する自販機だったそうです。残念ながらこの自販機は現存していませんが、同じく俵谷高七が明治37年(1904年)に制作した「自動郵便切手葉書売下機」は現在でも東京の郵政博物館に所蔵されています。



自動郵便切手葉書売下機(郵政博物館蔵)

省エネ技術が詰まっています！

業界では、1991年から現在まで、継続して省エネ対策に取り組んでいます。1991年から2012年までの約20年間で消費電力量をなんと**70%以上**削減し、現在も継続して低減しています。このような大幅な削減ができた裏には、様々な技術開発がありました。

その1 ゾーンクーリング

商品を収納するスペース全体を冷やすのではなく、もうすぐ売れていく商品だけを冷やすことで消費電力量を減らす機能。最近ではほとんどの缶・ボトル飲料自販機に搭載済みです。

その2 照明の自動点滅・減光

明るさ感知センサーで自動的に照明を点灯・消灯します。また、照明自体もインバーターによって減光し、消費電力量を抑えます。

その3 学習省エネ

自販機に内蔵されたマイコンが売行きデータなどを分析し、その結果をゾーンクーリングなどに生かす仕組みです。

その4 真空断熱材の採用

庫内の冷たさや温かさを逃がさないよう、保温効果の高い真空断熱材が最近の飲料自販機には使われるようになりました。

その5 ヒートポンプ

庫内の冷却装置から出る熱を再利用し、ホット商品を温めます。この方式により、消費電力量が大幅に低減されます。

【資料編】

(表2)年別輸入数量の推移(全国)

| | 飲料用 | | その他 | | 合計 | |
|------------|--------|----------|---------|--------|---------|--------|
| | | 前年比 | | 前年比 | | 前年比 |
| 1996年 | 2,375 | | 19,597 | | 21,972 | |
| 1997年 | 1,277 | 53.8% | 26,391 | 134.7% | 27,668 | 125.9% |
| 1998年 | 5,804 | 454.5% | 42,217 | 160.0% | 48,021 | 173.6% |
| 1999年 | 15,172 | 261.4% | 31,383 | 74.3% | 46,555 | 96.9% |
| 2000年 | 13,744 | 90.6% | 42,925 | 136.8% | 56,669 | 121.7% |
| 2001年 | 7,776 | 56.6% | 47,247 | 110.1% | 55,023 | 97.1% |
| 2002年 | 6,030 | 77.5% | 93,039 | 196.9% | 99,069 | 180.1% |
| 2003年 | 6,571 | 109.0% | 117,226 | 126.0% | 123,797 | 125.0% |
| 2004年 | 7,869 | 119.8% | 218,517 | 186.4% | 226,386 | 182.9% |
| 2005年 | 11,387 | 144.7% | 116,346 | 53.2% | 127,733 | 56.4% |
| 2006年 | 17,442 | 153.2% | 98,003 | 84.2% | 115,445 | 90.4% |
| 2007年 | 26,130 | 149.8% | 91,061 | 92.9% | 117,191 | 101.5% |
| 2008年 | 33,820 | 129.4% | 35,166 | 38.6% | 68,986 | 58.9% |
| 2009年 | 26,725 | 79.0% | 28,383 | 80.7% | 55,108 | 79.9% |
| 2010年 | 25,075 | 93.8% | 42,281 | 149.0% | 67,356 | 122.2% |
| 2011年 | 20,091 | 80.1% | 97,956 | 231.7% | 118,047 | 175.3% |
| 2012年 | 30,652 | 152.6% | 97,229 | 99.3% | 127,881 | 108.3% |
| 2013年 | 27,272 | 89.0% | 56,928 | 58.6% | 84,200 | 65.8% |
| 2014年 | 25,988 | 95.3% | 44,362 | 77.9% | 70,350 | 83.6% |
| 2015年 | 22,301 | 85.8% | 34,839 | 78.5% | 57,140 | 81.2% |
| 2016年 | 15,546 | 69.7% | 32,194 | 92.4% | 47,740 | 83.5% |
| 2017年 | 12,105 | 77.9% | 33,612 | 104.4% | 45,717 | 95.8% |
| 2018年 | 24 | 0.2% | 41,757 | 124.2% | 41,781 | 91.4% |
| 2019年 | 3,926 | 16358.3% | 57,079 | 136.7% | 61,005 | 146.0% |
| 2020年 | 346 | 8.8% | 69,198 | 121.2% | 69,544 | 114.0% |
| 2021年 | 510 | 147.4% | 90,400 | 130.6% | 90,910 | 130.7% |
| 2022年 | 798 | 156.5% | 140,930 | 155.9% | 141,728 | 155.9% |
| 2019年 1-9月 | 3,434 | 15609.1% | 41,978 | 148.7% | 45,412 | 160.8% |
| 2020年 1-9月 | 224 | 6.5% | 53,878 | 128.3% | 54,102 | 119.1% |
| 2021年 1-9月 | 308 | 137.5% | 63,660 | 118.2% | 63,968 | 118.2% |
| 2022年 1-9月 | 573 | 186.0% | 98,503 | 154.7% | 99,076 | 154.9% |
| 2023年 1-9月 | 906 | 158.1% | 111,225 | 112.9% | 112,131 | 113.2% |

(表3)年別輸入数量の推移(東京税関管内)

| | 東京税関管内 | その他 | 全国 |
|------------|---------|--------|---------|
| | 1996年 | 19,454 | 2,518 |
| 1997年 | 26,772 | 896 | 27,668 |
| 1998年 | 45,656 | 2,365 | 48,021 |
| 1999年 | 44,369 | 2,186 | 46,555 |
| 2000年 | 54,776 | 1,893 | 56,669 |
| 2001年 | 46,927 | 8,096 | 55,023 |
| 2002年 | 86,970 | 12,099 | 99,069 |
| 2003年 | 103,084 | 20,713 | 123,797 |
| 2004年 | 180,005 | 46,381 | 226,386 |
| 2005年 | 93,184 | 34,549 | 127,733 |
| 2006年 | 81,632 | 33,813 | 115,445 |
| 2007年 | 73,883 | 43,308 | 117,191 |
| 2008年 | 43,982 | 25,004 | 68,986 |
| 2009年 | 35,440 | 19,668 | 55,108 |
| 2010年 | 38,890 | 28,466 | 67,356 |
| 2011年 | 58,037 | 60,010 | 118,047 |
| 2012年 | 47,995 | 79,886 | 127,881 |
| 2013年 | 46,847 | 37,353 | 84,200 |
| 2014年 | 50,790 | 19,560 | 70,350 |
| 2015年 | 44,812 | 12,328 | 57,140 |
| 2016年 | 37,851 | 9,889 | 47,740 |
| 2017年 | 38,345 | 7,372 | 45,717 |
| 2018年 | 35,987 | 5,794 | 41,781 |
| 2019年 | 46,169 | 14,836 | 61,005 |
| 2020年 | 63,813 | 5,731 | 69,544 |
| 2021年 | 80,655 | 10,255 | 90,910 |
| 2022年 | 121,316 | 20,412 | 141,728 |
| 2019年 1-9月 | 34,230 | 11,182 | 45,412 |
| 2020年 1-9月 | 50,371 | 3,731 | 54,102 |
| 2021年 1-9月 | 56,098 | 7,870 | 63,968 |
| 2022年 1-9月 | 85,863 | 13,213 | 99,076 |
| 2023年 1-9月 | 97,564 | 14,567 | 112,131 |

(表4)年別輸入金額の推移(東京税関管内)

| | 東京税関管内 | その他 | 全国 |
|------------|--------|-------|--------|
| | 1996年 | 726 | 108 |
| 1997年 | 723 | 69 | 792 |
| 1998年 | 2,758 | 186 | 2,944 |
| 1999年 | 5,144 | 146 | 5,290 |
| 2000年 | 5,148 | 80 | 5,228 |
| 2001年 | 2,160 | 81 | 2,241 |
| 2002年 | 2,783 | 128 | 2,911 |
| 2003年 | 2,904 | 620 | 3,524 |
| 2004年 | 3,296 | 1,425 | 4,721 |
| 2005年 | 3,085 | 1,687 | 4,772 |
| 2006年 | 5,227 | 3,387 | 8,614 |
| 2007年 | 6,057 | 4,117 | 10,174 |
| 2008年 | 3,159 | 2,285 | 5,444 |
| 2009年 | 2,518 | 2,404 | 4,922 |
| 2010年 | 2,975 | 2,714 | 5,689 |
| 2011年 | 2,052 | 2,545 | 4,597 |
| 2012年 | 3,559 | 4,166 | 7,725 |
| 2013年 | 3,777 | 3,172 | 6,948 |
| 2014年 | 4,462 | 3,491 | 7,953 |
| 2015年 | 3,779 | 2,354 | 6,133 |
| 2016年 | 2,594 | 1,392 | 3,986 |
| 2017年 | 2,569 | 923 | 3,493 |
| 2018年 | 726 | 112 | 838 |
| 2019年 | 1,130 | 1,076 | 2,206 |
| 2020年 | 1,679 | 337 | 2,017 |
| 2021年 | 1,646 | 491 | 2,136 |
| 2022年 | 2,857 | 991 | 3,848 |
| 2019年 1-9月 | 784 | 899 | 1,683 |
| 2020年 1-9月 | 1,440 | 163 | 1,603 |
| 2021年 1-9月 | 1,105 | 407 | 1,513 |
| 2022年 1-9月 | 1,873 | 710 | 2,583 |
| 2023年 1-9月 | 2,450 | 861 | 3,312 |

【資料編(つづき)】

(表5)国(地域)別輸入数量の推移

| | 中国 | インドネシア | タイ | フィリピン | 台湾 | ベトナム | その他 |
|-------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1996年 | 120 | | | | 16,969 | | 4,883 |
| 1997年 | 120 | 294 | 6,384 | | 18,865 | | 2,005 |
| 1998年 | 300 | 10,463 | 10,150 | | 24,512 | | 2,596 |
| 1999年 | 152 | 15,421 | 8,308 | | 19,622 | | 3,052 |
| 2000年 | 701 | 19,026 | 7,680 | | 22,989 | | 6,273 |
| 2001年 | 7,600 | 10,518 | 10,732 | | 16,963 | | 9,210 |
| 2002年 | 14,614 | 10,842 | 23,706 | | 31,988 | | 17,919 |
| 2003年 | 25,546 | 12,148 | 37,162 | | 41,045 | | 7,896 |
| 2004年 | 111,685 | 18,851 | 39,005 | | 33,474 | | 23,371 |
| 2005年 | 26,610 | 26,802 | 37,214 | | 19,580 | | 17,527 |
| 2006年 | 21,291 | 39,351 | 42,528 | 1 | 6,775 | | 5,499 |
| 2007年 | 34,897 | 48,309 | 27,390 | | 3,159 | | 3,436 |
| 2008年 | 16,078 | 34,334 | 13,794 | | 2,900 | | 1,880 |
| 2009年 | 13,312 | 25,494 | 13,190 | 8 | 2,290 | | 814 |
| 2010年 | 17,405 | 24,947 | 21,509 | | 1,319 | | 2,176 |
| 2011年 | 50,765 | 19,722 | 45,974 | | 540 | | 1,046 |
| 2012年 | 67,101 | 30,565 | 28,632 | | 980 | 10 | 593 |
| 2013年 | 26,299 | 27,150 | 29,320 | | 961 | | 470 |
| 2014年 | 12,789 | 25,743 | 30,080 | | 1,174 | | 564 |
| 2015年 | 5,629 | 21,728 | 6,899 | 22,136 | 135 | | 613 |
| 2016年 | 6,738 | 15,579 | 2,576 | 20,535 | 916 | 571 | 825 |
| 2017年 | 7,054 | 11,617 | 4 | 18,555 | 776 | 7,460 | 251 |
| 2018年 | 8,858 | 6 | 5 | 24,826 | 843 | 7,055 | 188 |
| 2019年 | 26,310 | 3,863 | | 23,608 | 105 | 6,734 | 385 |
| 2020年 | 29,136 | 14 | | 34,429 | 571 | 4,924 | 470 |
| 2021年 | 20,503 | 48 | | 59,043 | 610 | 10,443 | 263 |
| 2022年 | 38,225 | 112 | | 79,166 | 909 | 23,181 | 135 |

(表6)国(地域)別輸入金額の推移

| | インドネシア | 中国 | フィリピン | タイ | 台湾 | 韓国 | 米国 | ベトナム | その他 |
|-------|--------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 1996年 | | 4 | | | 217 | 80 | 401 | | 133 |
| 1997年 | 53 | 4 | | 141 | 275 | 59 | 212 | | 47 |
| 1998年 | 2,227 | 8 | | 144 | 297 | 53 | 173 | | 42 |
| 1999年 | 4,726 | 4 | | 130 | 196 | 34 | 149 | | 52 |
| 2000年 | 4,327 | 14 | | 111 | 261 | 35 | 224 | | 257 |
| 2001年 | 1,498 | 50 | | 179 | 166 | 17 | 91 | | 240 |
| 2002年 | 1,518 | 163 | | 265 | 332 | 33 | 71 | | 530 |
| 2003年 | 2,087 | 337 | | 370 | 437 | 57 | 78 | | 158 |
| 2004年 | 2,710 | 615 | | 351 | 355 | 580 | 49 | | 61 |
| 2005年 | 3,391 | 279 | | 341 | 205 | 468 | 24 | | 64 |
| 2006年 | 7,007 | 357 | 1 | 484 | 72 | 484 | 16 | | 194 |
| 2007年 | 8,779 | 668 | | 305 | 172 | 33 | 38 | | 178 |
| 2008年 | 4,648 | 371 | | 166 | 96 | 10 | 21 | | 131 |
| 2009年 | 4,163 | 433 | 0 | 133 | 46 | 16 | 117 | | 15 |
| 2010年 | 4,928 | 315 | | 200 | 17 | 108 | 102 | | 19 |
| 2011年 | 2,835 | 1,089 | | 452 | 37 | 90 | 85 | | 8 |
| 2012年 | 5,577 | 1,622 | | 307 | 48 | 93 | 76 | 0 | 2 |
| 2013年 | 5,401 | 799 | | 379 | 57 | 280 | 28 | | 5 |
| 2014年 | 7,044 | 260 | | 419 | 71 | 139 | 11 | | 10 |
| 2015年 | 5,463 | 69 | 330 | 135 | 10 | 76 | 21 | | 29 |
| 2016年 | 3,315 | 71 | 317 | 42 | 39 | 135 | 6 | 10 | 51 |
| 2017年 | 2,874 | 124 | 282 | 1 | 34 | 45 | 6 | 110 | 18 |
| 2018年 | 2 | 211 | 381 | 1 | 26 | 89 | 2 | 96 | 30 |
| 2019年 | 893 | 653 | 365 | | 5 | 130 | 9 | 97 | 53 |
| 2020年 | 4 | 863 | 702 | | 23 | 138 | 27 | 71 | 189 |
| 2021年 | 11 | 743 | 970 | | 19 | 24 | 11 | 161 | 198 |
| 2022年 | 28 | 1,951 | 1,330 | | 50 | 17 | 13 | 445 | 14 |

【資料編(つづき)】

(表7)港別輸入数量の推移

(台)

| | 東京港 | 名古屋港 | 神戸港 | 清水港 | 大阪港 | 成田空港 | 横浜港 | その他 |
|-------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 1996年 | 19,214 | 219 | 1,635 | | 122 | 53 | 3 | 726 |
| 1997年 | 26,604 | 11 | 300 | | 120 | 4 | 242 | 387 |
| 1998年 | 45,150 | 141 | 565 | | 426 | 218 | 743 | 778 |
| 1999年 | 44,073 | 937 | 992 | | 150 | 255 | 14 | 134 |
| 2000年 | 54,184 | 279 | 961 | | 571 | 422 | 5 | 247 |
| 2001年 | 44,665 | 4,881 | 602 | | 1,201 | 1,857 | 1,228 | 589 |
| 2002年 | 72,819 | 10,572 | 1,052 | | 310 | 13,347 | 6 | 963 |
| 2003年 | 99,345 | 12,729 | 2,681 | | 813 | 3,734 | 1,058 | 3,437 |
| 2004年 | 179,190 | 32,643 | 8,109 | 139 | 2,878 | 815 | 333 | 2,279 |
| 2005年 | 93,084 | 9,376 | 12,294 | 150 | 9,649 | 100 | 6 | 3,074 |
| 2006年 | 80,166 | 8,465 | 16,380 | 6,276 | 1,148 | 1,466 | 604 | 940 |
| 2007年 | 71,493 | 7,983 | 20,538 | 10,364 | 1,688 | 2,390 | 669 | 2,066 |
| 2008年 | 43,076 | 2,910 | 13,489 | 4,810 | 2,521 | 906 | 318 | 956 |
| 2009年 | 35,302 | 783 | 13,327 | 4,516 | 919 | 138 | 10 | 113 |
| 2010年 | 38,675 | 3,241 | 12,722 | 12,331 | 37 | 215 | 1 | 134 |
| 2011年 | 57,957 | 22,504 | 10,200 | 26,732 | 191 | 80 | 6 | 377 |
| 2012年 | 47,934 | 20,318 | 13,930 | 45,060 | 359 | 56 | 24 | 200 |
| 2013年 | 46,771 | 7,173 | 11,656 | 16,994 | 28 | 75 | 597 | 906 |
| 2014年 | 50,758 | 3,684 | 14,501 | | 889 | 32 | 86 | 400 |
| 2015年 | 44,722 | 3,188 | 8,829 | 58 | 70 | 90 | 87 | 96 |
| 2016年 | 37,561 | 3,492 | 6,186 | 56 | 32 | 290 | 55 | 68 |
| 2017年 | 38,283 | 3,302 | 3,612 | 59 | | 62 | 282 | 117 |
| 2018年 | 35,971 | 3,445 | 100 | | 1,032 | 14 | 207 | 1,012 |
| 2019年 | 45,616 | 9,822 | 116 | 59 | 3,665 | 553 | 153 | 1,021 |
| 2020年 | 63,748 | 3,371 | | | 1,661 | 65 | 678 | 21 |
| 2021年 | 80,637 | 5,182 | 20 | | 2,872 | 18 | 2,018 | 163 |
| 2022年 | 121,206 | 6,116 | 181 | | 3,274 | 110 | 10,623 | 218 |

(表8)港別輸入金額の推移

(千円)

| | 東京港 | 名古屋港 | 神戸港 | 清水港 | 大阪港 | 成田空港 | 横浜港 | その他 |
|-------|-----------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|
| 1996年 | 661,761 | 32,173 | 20,791 | | 4,360 | 12,435 | 18,061 | 83,820 |
| 1997年 | 680,371 | 2,066 | 5,366 | | 4,257 | 1,539 | 9,944 | 88,526 |
| 1998年 | 2,722,201 | 53,383 | 12,882 | | 9,026 | 10,340 | 34,127 | 101,849 |
| 1999年 | 5,127,525 | 105,127 | 11,807 | | 3,450 | 12,518 | 10,896 | 18,394 |
| 2000年 | 5,128,515 | 36,221 | 11,172 | | 9,982 | 9,630 | 956 | 31,929 |
| 2001年 | 2,094,710 | 33,082 | 6,410 | | 1,291 | 39,033 | 23,343 | 43,026 |
| 2002年 | 2,360,769 | 59,893 | 14,831 | | 7,893 | 412,912 | 276 | 54,374 |
| 2003年 | 2,820,007 | 58,894 | 389,343 | | 20,766 | 83,121 | 14,892 | 137,042 |
| 2004年 | 3,258,075 | 154,339 | 1,101,697 | 3,803 | 77,238 | 38,072 | 6,995 | 80,541 |
| 2005年 | 3,063,410 | 72,047 | 1,446,904 | 2,385 | 105,477 | 21,704 | 1,389 | 58,308 |
| 2006年 | 5,108,256 | 73,471 | 2,743,668 | 131,484 | 378,082 | 118,703 | 5,664 | 54,265 |
| 2007年 | 5,930,789 | 81,290 | 3,494,895 | 292,611 | 52,669 | 126,242 | 140,886 | 54,453 |
| 2008年 | 3,094,755 | 26,948 | 1,790,350 | 93,839 | 339,750 | 64,127 | 12,000 | 22,042 |
| 2009年 | 2,425,660 | 11,114 | 2,173,706 | 77,517 | 136,081 | 91,984 | 2,588 | 3,376 |
| 2010年 | 2,922,471 | 12,123 | 2,439,673 | 249,952 | 4,372 | 52,051 | 265 | 8,013 |
| 2011年 | 2,008,772 | 438,132 | 1,416,189 | 632,161 | 32,435 | 43,555 | 1,014 | 24,643 |
| 2012年 | 3,497,814 | 627,641 | 2,435,298 | 1,025,745 | 45,614 | 60,642 | 5,956 | 26,114 |
| 2013年 | 3,562,179 | 265,148 | 2,314,750 | 504,643 | 3,557 | 214,087 | 26,986 | 57,041 |
| 2014年 | 4,440,214 | 150,066 | 3,269,700 | | 8,202 | 21,305 | 20,526 | 42,842 |
| 2015年 | 3,754,886 | 81,917 | 2,218,330 | 1,302 | 5,275 | 23,675 | 17,377 | 29,888 |
| 2016年 | 2,557,814 | 53,329 | 1,299,538 | 1,153 | 371 | 36,112 | 10,513 | 27,202 |
| 2017年 | 2,557,068 | 38,034 | 861,497 | 1,311 | | 12,393 | 14,788 | 7,587 |
| 2018年 | 713,474 | 51,793 | 1,273 | | 10,521 | 10,342 | 12,574 | 37,933 |
| 2019年 | 1,065,485 | 741,812 | 4,614 | 1,291 | 35,447 | 64,160 | 22,406 | 270,484 |
| 2020年 | 1,615,437 | 49,400 | | | 72,839 | 64,049 | 209,358 | 5,775 |
| 2021年 | 1,625,253 | 64,543 | 452 | | 102,172 | 20,481 | 307,288 | 16,114 |
| 2022年 | 2,817,659 | 103,405 | 108,800 | | 192,883 | 39,731 | 555,726 | 29,825 |

取材協力：一般社団法人日本自動販売システム機械工業会

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

**東京税関**

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:050-5533-6995

財務省貿易統計

検索

〒144-8616 東京都大田区羽田空港2-6-3 羽田税関支署貨物合同庁舎
<http://www.customs.go.jp/tokyo/>